



杉谷 洋一 議員

今後の町政は？

町長

魅力あるまちづくりに努める

【杉谷】国の財政は年々悪化し、それにとまな地方の財政もきびしくなってきた。町長は強いリーダーシップ



まちづくりを推進する未来づくり戦略室

【杉谷】若者定住には子育て環境の整備が不可欠ではないか。
 【町長】現在、保育所では、延長保育・一時

【杉谷】農水産物に二次加工を行い、付加価値を高め大山ブランドとして販売できないか。
 【町長】魅力的でさまざまな農水産物を、大山ブランドとしてすでに提供している。
 付加価値をつけ、消費者に送り届ける販売戦略の強化を検討する。

保育・病後児保育などを行っているが、さらに環境を充実する。

基金の用途は？

町長

財政負担の増加に対応

【近藤】地方交付税の削減によって、行財政改革がいつそう必要になる。どう取り組むか。
 【町長】指定管理者制度の導入・給食センターの民間委託・職員数の削減など行財政改革を進めている。
 平成25年度から第3次行財政改革集中プランにしたがい、取り組みを進めていく。

【町長】合併による優遇措置が終了し、今後は地方交付税が減少する。歳入の約半分を占める普通交付税の減少で、財源確保がむしろ難しくなり、基金取り崩しの必要性が生じるこ

【近藤】約45億円の基金の使いみちは。

とが予測される。今後下水道施設の長寿命化・防災関係・老朽施設の修繕など、財政負担の増加が見込まれ、基金を活用していくことが必要になる。



近藤 大介 議員



進めている行財政改革